

イチオシ!

M OVIE

『フェアトレードカレッジ・ミニ映画祭』

フェアトレードに関するドキュメンタリー映画を集めたミニ映画祭。上映作品は、利益のためなら手段を選ばないという企業に迫る「ザ・コーポレーション」、1992年の「国連環境開発会議」(地球サミット)で“伝説のスピーチ”を行った少女の成長を軸に環境問題を考える「セヴァンの地球のなおいし方」、そして大企業が市場を支配し公平な対価を得られないコーヒー生産者の生活を追った「おいしいコーヒーの真実」の3本。



「セヴァンの地球のなおいし方」 配給:UPLINK

日時：1月28日(土)
 9:30～12:00 「ザ・コーポレーション」
 13:30～15:20 「セヴァンの地球のなおいし方」
 15:45～17:05 「おいしいコーヒーの真実」
 会場：なごや地球ひろば(愛知県名古屋市)
 参加費：500円(各作品)
 問：Fair Beans TEL：052-583-6480
 URL:www.jica.go.jp/nagoya-hiroba/news/event/index.html#a01-128-01

E VENT

写真展「トポフィリアー九州力の原像へ」

「再生」をテーマに開発途上国の紛争地や被災地などを取材してきた写真家・今岡昌子氏。アジア大陸との交差点、古くからさまざまな人や物が往来する九州に移住し、個々の知と技の集約による地域力をたどり感じたのが、人々の心に宿る土地への愛情「トポフィリア」だった。本当に大切なことは何か。何気ない日常の中で忘れかけているものとは。今岡氏の眼差しから、九州、そして日本の光を牽引する力の原像に迫る。カラーとモノクロの作品約50点を展示。

会期：2月1日(水)～14日(火)10時半～18時半
 (最終日は15時まで、2月4日(土)・5日(日)は休館)
 会場：銀座ニコンサロン(東京都中央区)
 問：銀座ニコンサロン
 TEL：03-5537-1469
 URL：www.nikon-image.com/activity/salon/exhibition/2012/02_ginza.htm

B OOK

『ファインダー越しの3.11』

東日本大震災から10カ月。津波の威力や人間の非力さ、そして強さを記録した書籍は随分出版された。しかし本書は、これらとは一線を画す。著者は震災以前、広い世界を渡り歩き、紛争や災害、貧困など日本人の想像を絶する悲痛な現実に正面から向き合ってきた3人のフォトジャーナリスト。“世界を知る”彼らが、今度は日本、東北で、ファインダー越しに見た“痛みの記憶”が刻まれている。震災はまだ終わっていない。「人々の心の傷は街が修復されるようには癒されない」のだ。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

安田菜津紀/佐藤慧/渋谷敦志 著
 原書房
 1,575円(税込)

B OOK

『ぼくたちは見た ガザ・サムニ家の子どもたち』

2008年12月。イスラエルによるガザ地区侵攻により、わずか3週間で1,400人も命が奪われたパレスチナ。犠牲者の多くは罪なき市民だった。あれから3年余り。世界からの注目が薄れ、忘れ去られようとしているが、いまだにパレスチナの悲劇は続いている。家を破壊され、家族を失い、心に深い傷を負った子どもたちはどうしているのか。20年以上この地を訪れ、パレスチナの人々の姿を追い続けている著者が、自らのカメラを手に出会った子どもたちの生々しい証言を集めた一冊。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

古居みずえ 著
 彩流社
 2,100円(税込)